

令和2年度第3回和田区地域協議会 次 第

日時：令和2年7月16日（木）午後6時30分から
会場：ラーバンセンター 第4研修室

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 「公の施設の再配置計画」の策定について

(2) 令和2年度地域活動支援事業について（報告）

(3) 第3期和田区地域協議会の活動状況について

4 事務連絡

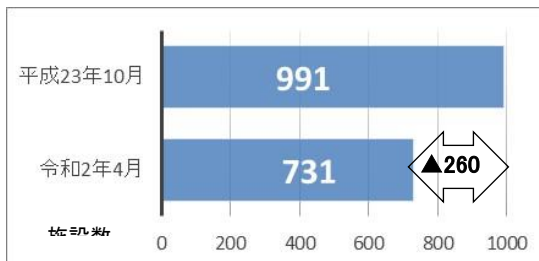
5 閉 会

「公の施設の再配置計画」の取組について

1 公の施設の再配置の取組状況と現状と課題について

(1) これまでの取組状況

市町村合併後、公の施設の廃止や譲渡を進め、平成23年10月時点で991施設あった公の施設は、令和2年4月1日現在、731施設となっています。



(2) 現状と課題

現 状

○人口推計

合併当時21万人であった人口は、減少傾向が続いており、令和27年には、推計で約14万人となる見込み。

(R2.4.1現在の人口：190,042人)

○財源不足

市の財政は、歳出が歳入を上回るため、財源不足を基金の取崩しで補う状況が続く見込み。

(R2～R4年度で49.6億円の取崩しを予定しており、また、R5以降においても収支均衡を図る目途がたっていない。)

○公の施設の状況

- 多くの施設の老朽化に伴う、維持管理経費と更新費用増加の見込み。

(今後40年間の維持・更新費用試算額：約4,325億円)

- 合併前の各市町村で進めた施設整備により多くの類似施設を保有している。(温浴施設、体育館など)

課 題

- 人口の減少

- 施設機能の重複する配置

- 施設更新、維持管理に係る財政負担の抑制

- 施設機能の適正な維持

*老朽化する施設に対する計画的な修繕の実施、機能を維持するための複合化(機能集約)

2 公の施設の再配置計画(個別施設計画)について

(1) 公の施設の再配置の必要性

将来予測される人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後、施設の老朽化がますます進行し、大規模修繕や更新が見込まれる中、多くの施設を現状のまま維持していくことは困難な状況です。

このような状況の下、今を生きる私たちは、地域の皆さんと共に、子どもや孫など次代を担う世代が今後も安心して暮らすことができる将来を見据え、教育や福祉を始めとした市民生活を支える基礎的なサービスを安定的に提供していくためにも、施設の廃止や機能の集約を行う必要があります。

また、継続すべき施設については、末永く利用していただくため、適切に維持・管理し、長寿命化を図ることとしています。

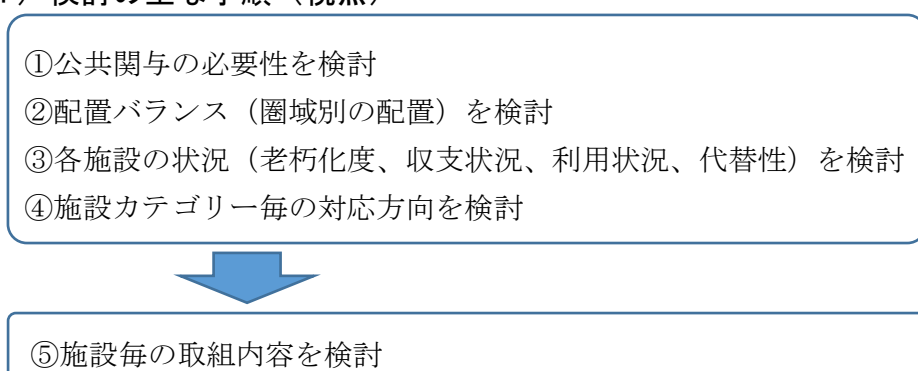
(2) 計画期間

- 令和3年度～令和12年度の10年間とし、令和7年度に見直しを行います。

(3) 公の施設の再配置における取組方針

取組方針	具体的な取組
①人口や財政状況を踏まえ施設の配置を検討	廃止（休止） 用途の変更
②地域の実情を踏まえ施設の配置を検討	機能の集約
③利用状況を踏まえ適切な管理者によるサービス提供を検討	民間譲渡 貸付又は譲渡
④長期にわたり利用促進を図るため計画的な修繕等について検討	施設の長寿命化

(4) 検討の主な手順（視点）



3 スケジュールについて

時 期	内 容
H31. 3～	○ 全 28 区の地域協議会に第 6 次上越市行政改革推進計画の策定に伴い行政改革の取組の概要を説明
R1. 10～11	○ 全 28 区の地域協議会に今後の「公の施設の再配置計画」の取組について説明
R1. 12～R2. 3	○ 地域協議会に公の施設の再配置の取組状況を報告 ○ 関係者との協議（利用者、地元町内会、その他影響が想定される団体等） ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 4～	○ 関係者との協議（協議未了の施設）【施設所管課】
R2. 7～9	○ 地域協議会に関係者との協議に基づき作成した再配置候補施設リストを示す。 【行政改革推進課・施設所管課】 ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 11	○ 再配置計画（案）の作成【行政改革推進課】
R2. 11～R3. 2	○ 所管事務調査（総務常任委員会）【行政改革推進課】 ○ パブリックコメントの実施（計画案の公表）【行政改革推進課】
R3. 3	○ 公の施設の再配置計画（個別施設計画）策定・公表【行政改革推進課】
〈参考〉 【計画策定後】 R3. 4～R13. 3	公の施設の再配置の実施 ○関係者と正式協議（方針決定） ○地域協議会に諮問 ➡ 答申 ○市議会で議決 ➡ 施設の再配置（廃止、譲渡等）

令和2年度 和田区地域活動支援事業 採択事業内定一覧

資料No.2

【和田区】の地域活動支援事業の予算配分額： 6,200千円

※ 当日の採点委員数： 14人

順位	整理No.	事業名	提案者名	事業費 (千円)	補助 希望額 (千円)	評価結果												地域協議会 の審査結果	左記を踏まえた内定	
						基本審査		優先採択審査			共通審査						採否		補助額 (千円)	
						「適合 する」 の人数	「適合し ない」 の人数	結果	「該当 する」 の人数	「該当し ない」 の人数	公益 性	必要 性	実現 性	参加 性	発展 性	合計				平均 点
1	1	住民の安全・安心活動事業	石沢町内会	336	335	14	0	優先	13	1	64	66	65	62	59	316	22.6	採択	採択	335
2	5	大和3丁目自主防災事業	大和3丁目自主防災組織	669	668	14	0	優先	13	1	63	63	60	60	56	302	21.6	採択	採択	668
3	3	上越妙高駅かいわいでひな祭り事業	上越妙高駅と共に歩む会	356	355	14	0	優先	13	1	61	58	63	62	57	301	21.5	採択	採択	355
4	2	吹上遺跡を花で彩るプロジェクト事業	稲荷吹上遺跡花グループ	279	278	14	0	優先	12	2	58	57	61	60	55	291	20.8	採択	採択	278
5	6	和田地区「各スポーツ大会」活性化事業	和田体育協会	595	460	14	0	優先	13	1	58	54	58	58	52	280	20.0	採択	採択	460
6	4	今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業	上越妙高駅と共に歩む会	1,285	1,284	14	0	優先	12	2	54	55	58	55	54	276	19.7	採択	採択	1,284
7	8	上越妙高駅西口イルミネーション事業	脇野田ゆかりの会	1,830	1,829	13	1	優先	12	1	55	49	51	49	52	256	18.3	採択	採択	1,829
8	7	大和綱引きチーム活動支援事業	和田体育協会	112	80	13	1	優先	12	1	50	52	52	47	51	252	18.0	採択	採択	80
合計				5,462	5,289															

内定件数	8件
予算残額	911

<提案事業に対する附帯意見>

整理No.6、No.7：

- ・提案事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、今後の発生状況に応じて、適切な対応をとること。
- ・事業実施の可否を十分検討した上で、適切な時期に備品等を購入すること。
- ・提案事業の中止、変更をする場合は、事前に南部まちづくりセンターに必ず報告すること。

第3期和田区地域協議会の活動状況について

1. 会議開催回数

委員の任期 平成28年4月29日～令和2年4月28日

年度	総会議数	内訳:種類別(協議・報告回数)[延べ]				
		自主的審議事項	地域課題の洗い出し	諮問事項	地域活動支援事業	行政からの報告
平成28年度	8回	0	6	0	7	0
平成29年度	7回	7	1	0	9	0
平成30年度	8回	7	0	0	6	2
令和元年度	6回	6	0	0	5	2
合計	29回	20	7	0	27	4

2. 自主的審議事項

自主的審議事項は地域の課題などを議題に、地域協議会が自主的に話し合う案件のことをいいます。話し合いの結果、地域で対応できないものは、市政運営の中で実現を求めため、市に意見書という形で伝えることもできます。

【自主的審議事項】・・・2件

- (1) 雪を生かした地域づくりの推進について(平成29年7月4日提案)
- (2) 住民組織の充実と地域活性化について(平成29年7月4日提案)

※詳細は別紙参照

3. 諮問事項

諮問事項は、区内の重要な公共施設の設置・廃止などについて、市から意見を求められたとき、「住民生活にどのような影響があるか」という観点で話し合う案件のことをいいます。話し合いの結果は、市長へ回答することになっています。

【諮問事項】・・・0件

4. 地域活動支援事業の審査・採択

地域協議会は、課題解決に向け優先すべき事業等を協議して採択方針や審査方法を定め、提案された事業の審査・採択を行います。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	610万円	610万円	610万円	610万円
提案件数 (補助金希望額)	4件 (681万5千円)	11件 (609万5千円)	7件 (814万5千円)	7件 (644万円)
採択件数 (補助金額)	4件 (610万円)	11件 (609万5千円)	7件 (610万円)	7件 (610万円)

【採択方針や審査方法に関する主な協議経過】

- ・基本審査で「適合しない」と委員が判断した場合、次に行う共通審査等で点数を付ける必要がないという意見を踏まえルールを改定(平成29年度から)
- ・事務局が行っていた「優先採択審査」は、委員が行うことに改定(平成29年度から)

5. 委員研修

自主的審議事項などの協議の参考にするため、先進地視察や専門の講師を招いての研修会を実施しました。

実施年月日	テーマ	概要
平成29年8月3日	雪利用施設の視察	自主的審議事項「雪を生かした地域づくりの推進について」の協議の参考にするため、公益財団法人ゆきだるま財団(安塚区)による雪利用の取組を視察。

6. 意見交換会

自主的審議事項などの議論の参考にするため、地域の各種団体や様々な年代の方を対象に意見交換会を実施しました。

実施年月日	テーマ	参加者	結果
平成28年10月7日	和田区内の子育て世代との懇談	和田小学校・大和小学校の児童保護者(9人)	身近な地域の課題や活性化に向けたアイデアなどについて意見交換し、課題の把握を行った。
平成30年11月15日	和田区雪イベント実施に伴う意見交換(第1回)	和田地区振興協議会など地元関係団体(12団体15人)	地域協議会が「雪を生かしたイベント」の開催に向けて作成した企画書(案)を和田区の関係団体に提案。
平成30年12月10日	和田区雪イベント実施に伴う意見交換(第2回)	和田地区振興協議会など地元関係団体(12団体15人)	実施の可能性や実行委員会の立ち上げを協議し、了承された。



和田区内の子育て世代との懇談会(H28.10.7)



和田区雪イベント実施に伴う意見交換会(H30.12.10)

7. 地域協議会だよりの発行

地域協議会の活動状況を地域の皆さんに広く周知するため、地域協議会だよりを発行し全戸配布しました。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
発行回数	4回	4回	4回	4回

【令和元年度の主な掲載記事】

- (1) 自主的審議事項「雪を生かした地域づくりの推進」の取組状況[令和元年10月15日号]
- (2) 行政からの報告事項(公の施設の使用料改定など)[令和2年1月15日号]
- (3) 令和元年度地域活動支援事業の紹介[令和2年1月15日号]

第3期和田区地域協議会における自主的審議事項

別紙

件名	地域の課題としたもの	課題解決に向け、考えた取組 (当初案)	主な成果・実績
<p>雪を生かした地域づくりの推進について (H29.7.4提案)</p>	<p>当地域は冬になると多くの積雪があり、除雪の負担があるだけでなく、屋外活動が控えられ冬期は地域活動が停滞しがちである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪を楽しむ取組やイベント、雪を利用した事業等を、和田区の団体や組織に提案。 ・必要により組織化につなげたうえで、イベントの開催や利雪の事業化へ結び付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視察研修 (H29.8.3 公益財団法人ゆきだるま財団へ) ・和田区雪イベントの開催に向けた協議 (H30.9～H31.4) ・雪イベントの企画書(案)を作成 (H30.10) ・関係団体との意見交換 (H30.11.15、H30.12.10) ・和田区雪イベント実行委員会を組織 (H31.4) ・「第1回みんなの冬のカーニバル事業」を地域活動支援事業に採択 (R1.5) ・「第1回みんなの冬のカーニバル」を開催 (R2.2.8～2.9)
<p>住民組織の充実と地域活性化について (H29.7.4提案)</p>	<p>和田区では、地域振興、福祉、体育等さまざまな分野の各種団体(住民組織)が活動しているが、個々の活動にとどまり、地域の活性化の動きにつなげられていない。</p>	<p>地域協議会を含めた懇談会の開催等、各種団体が一つの場集まり意見交換(懇談会)を進めることで、横の連携が図られ、地域の活性化等共通認識が持てる。</p>	<p>各種団体が冬期間における地域の活性化に向けた課題を共有し、一つになって実施する実行委員会(和田区雪イベント実行委員会)が組織された。</p>